

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	さかい 酒井 いずる 出	所属・職名	健康福祉学部社会福祉学科
専門領域	社会学	学位称号	博士(学術) 2009(平成21)
最終学歴	佐賀大学大学院工学系システム生産化学専攻(博士課程) 修了		
資格・免許等			
教育上の能力に関する事項			
担当科目			
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等	<p>(1)社会学入門については、受講生が100人を超えており、一方的な講義になりやすく学生が飽きてしまうように見えた。そこで、講義テーマが終わるごとにグループをつくらせテーマの中で関心があることについて議論させることによって講義への参加意欲を高めさせるようにした。</p> <p>また、講義の最後に次回の講義で扱うテキストの範囲について話し、予習課題を配布し、学生が予習をしてもらうよう促した。</p> <p>(2)社会理論と社会システムの講義では、社会福祉士資格試験出題基準にあわせて講義を行い、毎授業の終わりに過去問を解かせるようにした。</p> <p>(3)社会調査は実際にテーマの決定、調査票づくり、配布、収集、分析等実際にその作業をしてみないと理解できないことが多い。そこで平成12年より毎回、講義のあとに課題を与え、課題を提出させるようにしている。</p>		
職務上の実績に関する事項			
研究業績等に関する事項			
《平成20年度～平成24年度》			
著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
酒井 出、「地域社会の再編成と住民による地域福祉活動—タイ東北部ルーイ県・バンコク都のケーススタディを中心に—」	単著	西日本社会学会、西日本社会学会年報第7号	平成21年
酒井 出、「地域社会の再編成と住民による地域福祉活動の日・タイ比較研究」	単著	佐賀大学大学院工学系研究科、博士論文	平成21年
酒井 出、「第8章 集団と組織」、坪井健編著『新しい社会学を学ぶ』	単著	学文社	平成22年
酒井 出 「第11章 地域社会の現在」坪井健編著『新しい社会学を学ぶ』	単著	学文社	平成22年
酒井 出 「自治体の自然を大切にしたいまちづくり計画と地域住民自治組織—佐賀県神埼市を事例として—」	単著	西九州大学社会福祉学科、九州社会福祉研究第31号、	平成23年
吉田恭子、勝田和典、酒井出、井上俊孝、権藤美和子、堤素子「韓国大田広域市における高齢者福祉の現状—大田広域市の現地訪問を通して—」	共著	西九州大学社会福祉学科、九州社会福祉研究第31号、	平成24年
酒井 出、「第6章4節 アジアの社会福祉」川池智子編著『新社会福祉論』学文社	共著	学文社	平成24年
研究助成等			
学会及び社会における活動等			
日本社会学会、西日本社会学会、日仏社会学会、白山社会学会、村落研究学会、日本地域福祉学会			

